#### BULLETIN OF SOCIAL MEDICINE

# 社会医学研究

# 第60回 日本社会医学会総会講演集

人々の生命と生活と 生きる権利を守る社会づくり



2019年8月6日以・7日丞東京慈恵会医科大学 国領キャンパス

日本社会医学会 特別号 2019
JAPANESE SOCIETY FOR SOCIAL MEDICINE

#### **BULLETIN OF SOCIAL MEDICINE**

## 社会医学研究

## 第60回 日本社会医学会総会講演集

人々の生命と生活と 生きる権利を守る社会づくり

2019年8月6日火・7日水東京慈恵会医科大学 国領キャンパス

日本社会医学会 特別号 2019
JAPANESE SOCIETY FOR SOCIAL MEDICINE

#### INDEX

大会長挨拶
会場アクセス ······2
会場案内3
<b>学術集会に参加される方へ</b> 5
日 程 表8
プログラム10
抄 録
大会長講演22
基調講演24
特別講演26
ものがたりセミナー27
教育講演29
編集委員会企画30
シンポジウム36
ワークショップ48
一般演題51
企画運営事務局・実行委員99

## 第60回日本社会医学総会 大会長挨拶

大会長 櫻井 尚子 東京慈恵会医科大学大学院 教授



テーマ

#### 「人々の生命(いのち)と生活(くらし)と生きる権利(人生)を守る社会づくり」

還暦に当たる第60回を東京慈恵会医科大学で開催させていただきますことは光栄です。 日本社会医学会の源流であった社会医学研究会の初代学会長のお一人である曽田長宗先生は「社会医学のはるかな道」の中で「医学の社会化」について述べられています。前回は、「前を向く社会医学 ~次世代への胎動~」と題して、ひとり一人の居場所を大切にする社会の形成が重要であり、学会の目指す方向が推察されたと考えます。社会医学は、川下で生じている目の前の課題だけでなく、川上の課題を解決する視点をももつ研究・実践活動が大切であると考えます。そして、多様な領域の研究者・実践家が共に話し合い、社会の問題を課題として前向きに話し合い取り組むことが求められているのではないでしょうか。

次世代を支援する社会づくりとして「子どもの貧困と家族への支援」「子どもの権利…」について、スウェーデンからイヴァルソン教授(通訳あり)にお越しいただけることになりました。高齢者を支援する社会づくりとして「高齢者医療と倫理」「健康寿命に寄与する口腔ケア」を、セーフネットの社会づくりとして「生活保護受給者の健康支援」を企画しています。

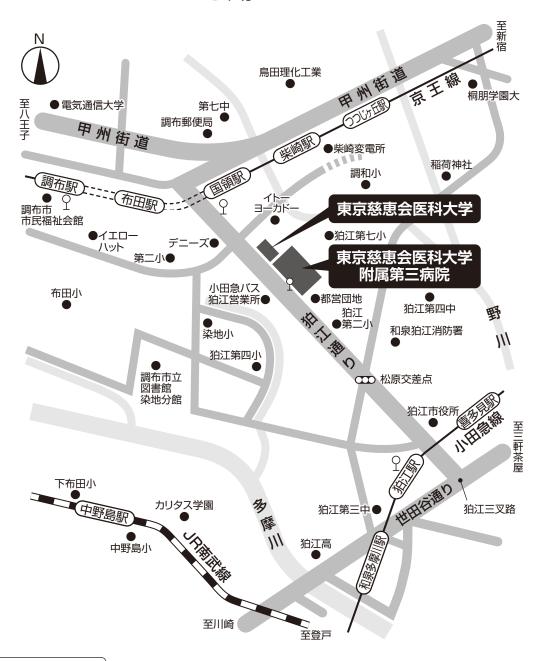
人は生物として生きるだけでなく、ひとり一人の物語を紡いで人生を生きています。臨床や地域および教育の場等における日頃の実例や気付きを通して、住民や患者さんの幸せを目指す社会づくりへの思考を、ひとり一人の人生を生きる権利を私たちがどう捉え支えるかを共に考えていけたらと思い「ものがたりセミナー」を企画しました。

日本社会医学会学術誌である「社会医学研究」には多くの投稿論文がなされています。 編集委員会企画「研究の進め方」を、また、人々の物語を研究データにする「質的研究」 教育講演をもうけました。

会場の東京慈恵会医科大学は、脚気の疫学的臨床研究を行った高木兼寛を学祖として130年の歴史を持ち、英国医学を取り入れた私学としての道を歩んできました。社会医学の視点からご紹介したいと特別講演を企画いたしました。

本学会では曽田長宗先生の思いの初心を確認し、保健師、法律学者、総合診療医師、哲学者、歯科医師、看護師、公衆衛生医師、小児科医師、大学や行政や子育て支援組織など多様な職種と働く場の方々にお願いし、多様な見地から社会医学を俯瞰し、日々の実践の活動に寄与できればと考えます。

#### 会場アクセス



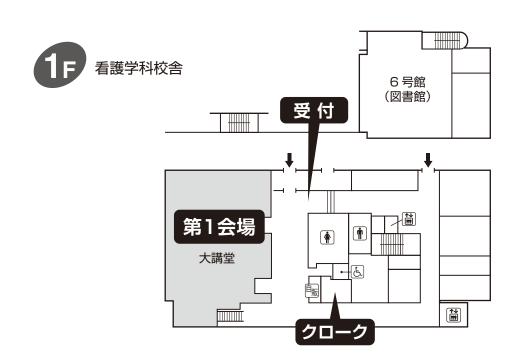
#### 会場へのアクセス

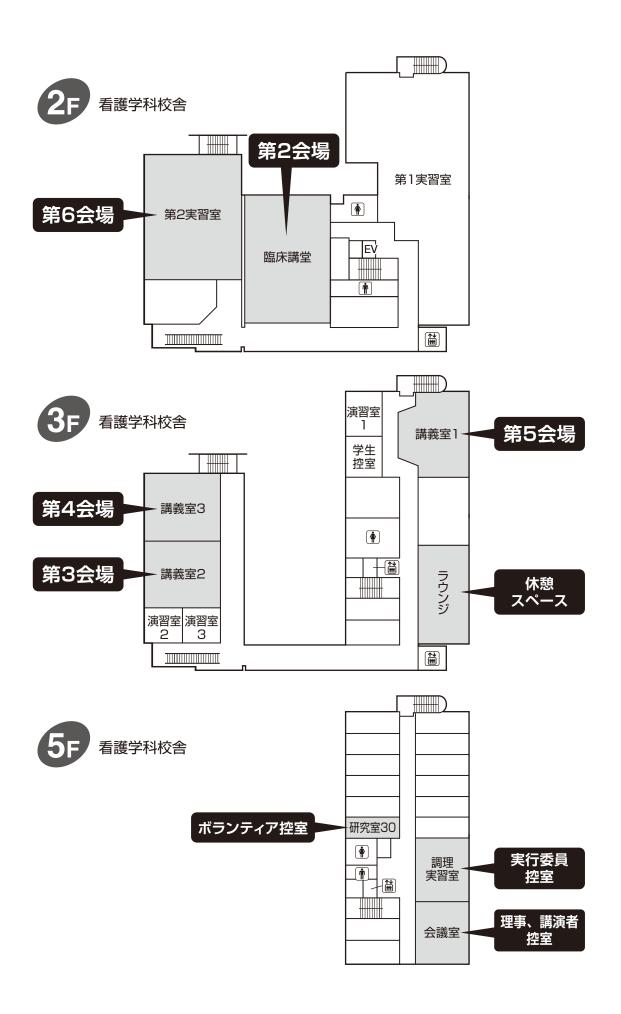
■鉄道	<ul><li>京王線「国領駅」下車 徒歩約15分</li><li>小田急線「狛江駅」下車 徒歩約25分</li></ul>
<b>■</b> バ ス	
京王線調布駅から(約10分)	● 京王バス つつじヶ丘行
	● 小田急バス 成城学園・渋谷駅・二子玉川・狛江駅北口・狛江営業所行 
京王線国領駅から(約4分)	● 小田急バス 狛江駅北口・狛江営業所行き 
小田急線狛江駅から(約10分)	● 小田急バス 慈恵第三病院行
	● 小田急バス 武蔵境駅南口行き
	● 小田急バス 調布駅南口行き
	● 京王バス 調布駅南口行き

#### 会場案内

#### 東京慈恵会医科大学 構内図







#### 学術集会に参加される方へ

#### 1. 受 付

- 1) 参加受付は、9:00より、看護学科校舎1階受付で行います。
- 2) 事前に申し込みされている方は、郵送いたしました講演集をご持参の上「事前受付」にお越しください。参加証をお渡しいたします。
- 3) 当日に参加申し込みをされる方は、「当日受付」において参加費(会員・非会員5,000円、大学院生を除く学生2,000円)をお支払いの上、申し込みをしてください。学生の方は学生証の提示をお願いいたします。
- 4) 講演集の購入をご希望される方へ、1冊1,000円で販売いたします。
- 5) 受付付近のテーブルに、紐付きネームプレートを用意いたしますので、ネームカードに氏名・所属をご記入の上、会場内では必ずネームプレートをつけてください。
- 6) 会場内での連絡、呼び出し等については、受付の掲示板をご利用ください。

#### 2. クローク

看護学科校舎1階に、クロークを設置いたします。時間は、1日目(8月6日) 9:00~17:40、2日目(8月7日) 9:00~16:10です。お荷物は出来る限りまとめていただきますようご協力をお願いいたします。なお、貴重品・パソコン・傘・壊れもの・食品類はお預かりできません。

#### 3. 食事·休憩

- 1) お弁当販売は事前申し込みのみとなります。事前に申し込まれた方は、11:30以降に看護学科校舎1階受付横にてお受け取りください。
- 2) 会場内では、昼食を販売しておりません。キャンパス近隣にイトーヨーカドーと若干のレストランが、また、附属第三病院内にコンビニエンスストアがございます。ご昼食をご持参いただいた方は、看護学科校舎3階に休憩室(学生ラウンジ)を設置しておりますので、ご利用ください。

#### 4. 情報交換会

1日目 (8月6日) 17:45~19:30 に、キャンパス内の学生食堂 Bella (ベラ) にて開催いたします。参加費は4,000円です。事前にお申し込みいただいた方には、参加証兼領収書に印をしております。当日に参加申し込みをされる方は、看護学科校舎1階「情報交換会受付」にて、会費 (4,000円) をお支払の上、申し込みをしてください。定員になり次第、申し込みを終了いたします。

#### 5. 非常時

非常時の場合は、担当者の指示に従ってください。

#### 6. 一般演題発表(口演)の方へ

1) 口演発表は、第2会場(2階 臨床講堂)~第6会場(2階 実習室2)で行います。 看護学科校舎1階の受付をお済ませください。その後、データ受付にて、パソコンに発表 用データをインストールしてください。発表時間帯と受付時間は以下の通りです。

8月6日(火)第1群~第2群の方:6日 9:30~10:30

8月7日(水)第3群~第7群の方:7日9:00~9:45

8月7日(水) 第8群~第12群の方:7日9:00~10:30

各群開始5分前には、各会場内の次演者席に、御着席ください。

お預かりしたデータは発表終了後、学術集会事務局が責任を持って削除・消去いたします。

2) 発表時間は、1演題につき13分(発表8分、質疑応答5分)です。 ベルを鳴らすタイミングは下記の通りです。

	タイミング	時間
1回目	発表終了1分前	7分
2回目	発表終了時	8分
3回目	質疑終了時	13分

- 3) 会場の発表用 PC の OS は「Windows7」、使用するアプリケーションは「Microsoft Power Point 2013」です。また、Power Point ファイル作成にあたっては、Windows 標準フォント (MS 明朝、MSP 明朝、MS ゴシック、MSP ゴシック等)をご使用ください。その他のフォントでは、正しく表示されない場合がございます。
- 4) 発表データは USB フラッシュメモリでご持参ください。お持ち込みになる USB フラッシュメモリのウイルスチェックは、各自、事前に行なってください。
- **5)** 作成されたファイル名は「演題番号 (発表者名)」 (例: O-1 (○○△△子)) で保存してください。
- 6) 運営上、動画の使用など、特別なデータの作成はご遠慮ください。各発表につき、原則と して1ファイルとさせていただきます。
- 7) 発表データは持ち込まれたファイル単体で動くようにしてください。外部ファイルとのリンクはできません。
- 8) 学術集会参加前に、必ず他の PC で動作の確認をしておいてください。発表データ受付で の修正はできませんので、予めご了承ください。
- 9) 発表時のパソコン操作は、会場係の指示に従ってください。プレゼンテーション状態に設定した後のスライドの送り操作は、原則として発表者が行ってください。
- 10) 資料を配付される場合は、各自でご用意ください。会場での印刷はできません。

#### 7. 研究発表(口演)座長の方へ

- 1) 座長の方は、担当される群の30分前までに看護学科校舎1階で座長受付をお済ませください。
- 2) ご担当の群の発表開始5分前に会場へおいでください。
- 3) 口演は1演題13分(発表8分・質疑応答5分)です。時間厳守でお願いいたします。
- 4) 演者の欠席が出た場合には適宜発表を調整し、進行をお願いいたします。

#### 8. 編集委員会企画者・ワークショップ企画者の方へ

- 1)編集委員会企画は1日目、第2会場(2階 臨床講堂)で、ワークショップは2日目に第1会場(1階 大講堂)にて行います。
- 2) 発表者は、看護学科校舎1階で演者受付をお済ませの上、開始10分前には会場へおいでください。必要時、会場担当者と打ち合わせを行ってください。
- 3) 発表データは USB フラッシュメモリでご持参ください。お持込になる USB フラッシュメモリのウイルスチェックは、各自、事前に行なってください。
- 4) 発表用 PC の OS は、「Windows10」使用するアプリケーションは「Microsoft Power Point 2016」です。発表データは、1階のデータ受付けにてインストールしてください。資料を配付される場合は、各自でご用意ください。会場での印刷はできません。その他、ご使用になりたい機器や設備がある場合には、事前に事務局までお知らせください。
- 5) 会場設営・運営(進行)は、セッション企画者が行ってください。

#### 9. シンポジストの方へ

- 1) シンポジウム1は1日目に第2会場(2階 臨床講堂)で、シンポジウム2は2日目に第1会場 (1階 大講堂)にて行います。
- 2) 発表者は、看護学科校舎1階で演者受付をお済ませの上、開始10分前には会場へおいでください。必要時、会場担当者と打ち合わせを行ってください。
- 3) 発表データは USB フラッシュメモリでご持参ください。お持込になる USB フラッシュメモリのウイルスチェックは、各自、事前に行なってください。
- 4) 発表用 PC の OS は、「Windows10」使用するアプリケーションは「Microsoft Power Point 2016」です。発表データは、1階のデータ受付けにてインストールしてください。その他、ご使用になりたい機器や設備がある場合には、事前に事務局までお知らせください。

#### 1日目 2019年8月6日 区

1	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場
	1F 大 講 堂	2F 臨床講堂	3F 講義室2		3F 講義室1	
9:00	9:00~ 受付開始					
10:00	10:00~10:10 開会の辞	大会長: 櫻井 尚子				
	10:15~10:50 大会長講演 生命(いのち)と生活(くらし)と 生きる権利(人生)を衛(守る)、 社会づくり 演者: 櫻井 尚子					
44:00	【					
11:00	11:00~12:00	11:00~12:00	11:00~12:00			
	基調講演	一般演題	一般演題			
	子どもの貧困と家族への支援	- 1群	2 群			
	演者:棚村 政行	座長:渡部 月子	座長:広瀬 俊雄			
12:00	学校· <b>小稿 兀</b>					
12.00						
			12:15~12:50			
			評議員・理事会 昼食			
40:00				J		
13:00	13:00~13:50   <b>ものがたりセミナー1</b>   高齢者医療と倫理   ~アドバンス・ケア・ブランニング   患者ひとり一人の生き方の選択	13:00~13:50 教育講演 質的研究 一はじめての質的研究: 質的研究の基礎知識一				
	演者: 三浦 靖彦 座長: 櫻井 尚子	演者:北 素子 座長:大木 幸子				
14:00	14:00~16:00	14:00~15:00				
	ものがたりセミナー2	編集委員会企画 実践研究を				
	対話し協働する	・ 世の中に発信するために		-		
15:00	保健医療福祉を考える 〜立ち止まり物語る倫理のススメ〜	企画:編集委員長 小橋 元 演者:木村 美也子、小泉 智恵、 梅澤 光政				
15:00	演者:金城 隆展					
	座長: <b>三浦 靖彦</b> -	15:10〜16:10 シンポジウム 1 ・ 健康長寿をめざしたかかりつけ、 歯科医師の意義: 芝エビ研究会 10年間活動蓄積 企画: 星 旦二				
16:00		シンポジスト :     シンポジスト :     矢吹 義秀、小林 憲司、福澤 洋一、				
		古藤 真実、星 旦二				
	16:15~17:30					
ŀ	特別講演			-		
	高木兼寛と社会医学					
17:00	-  -   演者: <b>栗原 敏</b>   -					
	座長:高鳥毛 敏雄					
18:00	17:45~19	:30 情報交換会(	(会場:学生食堂 B	ella(ベラ	))	

#### 2日目 2019年8月7日丞

ĺ	 第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場
	1F 大 講 堂	2F 臨床講堂	3F 講義室 2	3F 講義室 3	3F 講義室 1	2F 実習室 2
9:00	9:00~ <b>受付開始</b>					
10.00	10:00~11:30	10:00~11:00	10:00~11:00	10:00~11:00	10:00~11:00	10:00~11:00
	ワークショップ	一般演題	一般演題	一般演題	一般演題	一般演題
	·	3群	4群	5 群	6群	7群
	生活保護受給者の健康支援	座長: A	座長: 渡部 月子	座長: 宮尾 克	座長: 上	座長: A保 美紀
11:00	企画運営:原 政代、黒田研二	同枞 目土		日尾 元	70 加叉	人体 关心
	話題提供者:加藤 友恵、富塚 智子					
	林 克人	11:10~12:10	11:10~12:10	11:10~12:10	11:10~12:10	11:10~12:10
			- 一般演題 - 9 群	一般演題     10 群	- 一般演題	一般演題     12 群
		O 行     座長:	9 <del>行</del>     座長:	座長:		12 行
12:00		大木 幸子	辻村 裕次	山崎喜比古	大野 義一郎	石竹 達也
		<u></u>				
		12:30~13:20				
10.00		総会				
13:00		昼食				
	13:30~15:50					
	シンポジウム2					
14:00	子どもの権利の現状と課題					
11100	第1部:現場の声					
	司会: 武内 一、藤田 恭子 シンポジスト: 佐藤 洋一、藤田 恭子					
	志村知穂	L				
	第2部:子どもの権利に対する 国際的動きの紹介					
15:00	司会:武内 一、佐藤 洋一					
	子どもの権利の現状と課題					
	何が解決すべき課題か - シンポジスト:アネリ・イヴァルソン F					
	第3部:パネルディスカッション					
	15:50~16:00 <b>閉会の辞</b>					
16:00						
17:00						
00						
18:00						
L						

#### プログラム

#### 8月6日(火)

10:00~10:10 開会の辞 大会長: 櫻井 尚子(東京慈恵会医科大学大学院)

10:15~10:50 大会長講演

第1会場(1F大講堂)

座長: 高鳥毛 敏雄(関西大学 社会安全学部)

生命(いのち)と生活(くらし)と生きる権利(人生)を衛(守る)、 社会づくり

櫻井 尚子 東京慈恵会医科大学大学院 医学研究科 看護学専攻

11:00~12:00 基調講演

第1会場(1F大講堂)

座長:小橋 元(独協医科大学 医学部公衆衛生学講座)

#### 子どもの貧困と家族への支援

棚村 政行 早稲田大学法学学術院

12:15~12:50 評議員・理事会 昼食

第3会場(3F 講堂室2)

13:00~13:50 **ものがたりセミナー1** 

第1会場(1F大講堂)

座長: 櫻井 尚子(東京慈恵会医科大学大学院)

#### 高齢者医療と倫理

~アドバンス・ケア・プランニング患者ひとり一人の生き方の選択

三浦 靖彦 東京慈恵会医科大学附属柏病院 総合診療部

13:00~13:50 教育講演

第2会場(2F 臨床講堂)

座長:大木 幸子(杏林大学 保健学部看護学科)

#### 質的研究

一はじめての質的研究:質的研究の基礎知識-

北 素子 東京慈恵会医科大学 医学部看護学科

座長:三浦 靖彦(東京慈恵会医科大学附属柏病院 総合診療部)

#### 対話し協働する保健医療福祉を考える 〜立ち止まり物語る倫理のススメ〜

金城 隆展 琉球大学医学部附属病院 地域医療部 臨床倫理士

14:00~15:00 編集委員会企画

第2会場(2F 臨床講堂)

企画:編集委員長 小橋 元(獨協医科大学 医学部公衆衛生学講座)

#### [ 実践研究を世の中に発信するために ]

#### リサーチクエスチョンの立て方と実現可能な研究方法

木村 美也子 聖マリアンナ医科大学 予防医学教室

#### 研究を実践活動に還元する方法

小泉 智恵 獨協医科大学 医学部公衆衛生学講座

#### 論文作成の作法 ~編集委員会の立場から

梅澤 光政 獨協医科大学 医学部公衆衛生学講座

15:10~16:10 シンポジウム1

第2会場(2F 臨床講堂)

企画: 星 且二(首都大学東京 名誉教授)

#### 健康長寿をめざしたかかりつけ歯科医師の意義: 芝エビ研究会10年間活動蓄積

シンポジスト

矢吹 義秀 東京都港区芝歯科医師会 小林 憲司 東京都港区芝歯科医師会

福澤 洋一 東京都港区芝歯科医師会 古藤 真実 東京都港区芝歯科医師会

星 日二 首都大学東京

16:15~17:30 **特別講演** 

座長:高鳥毛 敏雄(関西大学 社会安全学部)

#### 高木兼寛と社会医学

栗原 敏 学校法人慈恵大学 理事長

17:45~19:30 **情報交換会** 

学生食堂 Bella(ベラ)

第1会場(1F大講堂)

#### 8月7日(水)

10:00~11:30 **ワークショップ** 

第1会場(1F大講堂)

企画運営:原 政代(東京医療保健大学 地域·在宅看護学) 黒田 研二(関西大学 人間健康学)

#### 生活保護受給者の健康支援

話題提供者

加藤 友恵 瀬戸市 社会福祉課 保護係 富塚 智子 郡山市 生活支援課 給付係 林 克人 豊中市 福祉事務所 医療介護係

12:30~13:20 総会 昼食

第2会場(2F 臨床講堂)

13:30~15:50 シンポジウム2

第1会場(1F大講堂)

#### 子どもの権利の現状と課題

第1部 「現場の声]

司会:武内 一(佛教大学 社会福祉学部) 藤田 恭子(上尾市役所 健康福祉部 生活支援課)

**S2-1-1** 子ども権利の現状と課題 ~小児科医として、学校医として~

佐藤 洋一 生協こども診療所

**S2-1-2** 産学官の協働で取り組む食育支援プログラム 〜健康という切り口から子どもの学ぶ権利を支援する〜

藤田 恭子 上尾市役所 健康福祉部 生活支援課

S2-1-3 子ども権利の現状と課題

~震災から8年、子どもたちの「こころのSOS」~

志村 知穂 一般社団法人こころスマイルプロジェクト

#### 第2部 [子どもの権利に対する国際的動きの紹介]

司会:武内 一(佛教大学 社会福祉学部) 佐藤 洋一(生協こども診療所)

#### S2-2 子どもの権利の現状と課題 何が解決すべき課題か

アネリ イヴァルソン ウメオ大学 医学部 疫学とグローバル・ヘルス科 小児科医/スウェーデン

第3部 [パネルディスカッション]

15:50~16:00 閉会の辞

#### 一般演題 プログラム

#### 8月6日(火)

11:00~12:00 一般演題 1群

第2会場(2F 臨床講堂)

座長:渡部 月子(神奈川県立保健福祉大学)

O-01 生活保護受給者の健康支援の課題と保健師の役割

原 政代 東京医療保健大学 和歌山看護学部 地域・在宅看護学

**O-02** 保健師の専門技術獲得のためのケースメソッド学習プログラムの 試行(第1報)

大木 幸子 杏林大学 保健学部 看護学科

**O-03** 保健師の専門技術獲得のためのケースメソッド学習プログラムの参加者による評価(第2報)

大木 幸子 杏林大学 保健学部 看護学科

**O-04** 保健師の専門技術獲得のためのケースメソッド学習プログラムの 人材育成担当者による評価(第3報)

高城 智士 京都看護大学大学院 看護学研究科

11:00~12:00 一般演題 2群

第3会場(3F 講義室2)

座長:広瀬 俊雄(仙台錦町診療所・産業医学健診センター)

- O-05 石炭火力発電所排出煤塵が、健康弱者に早期影響を惹起している調査結果報告 広瀬 俊雄 仙台錦町診療所・産業医学健診センター
- O-06 ビキニ水爆実験被災者の労災申請をめぐって(第3報) ~社会保険審査会における主張を中心に~

色部 祐 働くもののいのちと健康を守る東京センター

O-07 福島原発労働者の甲状腺被曝線量-甲状腺等価線量は最大30Sv以上?

郷地 秀夫 兵庫民医連 神戸健康共和会 東神戸診療所

O-08 滋賀県における障害者の防災についての意識調査

辻村 裕次 滋賀医科大学 社会医学講座 衛生学

#### 8月7日(水)

10:00~11:00 一般演題 3群

第2会場(2F 臨床講堂)

座長:高城 智圭(京都看護大学大学院)

O-09 深夜の街の少年における健康の社会的決定要因

田中 勤 総合病院南生協病院産婦人科

O-10 地域の居住環境の特性と学童期における児の社会性の発達との関連

細川 陸也 名古屋市立大学大学院 看護学研究科

**O-11** ひきこもり経験に関する症例対照研究:小学校時代の生活について

米田 政葉 北海道医療大学大学院 看護福祉学研究科 博士後期課程

O-12 若年層の相談を通してみえてくる貧困

田原 莉茄子 千鳥橋病院 MSW

10:00~11:00 一般演題 4群

第3会場(3F 講義室2)

座長:渡部 月子(神奈川県立保健福祉大学)

O-13 看護基礎教育教員の「腰痛予防対策指針およびノーリフティング原則」の 認知の現状

西田 直子 京都先端科学大学 健康医療学部 看護学科

O-14 近畿の介護保険施設における腰痛予防対策に関する介護職リーダーの認識 富田川 智志 京都女子大学 家政学部 生活福祉学科

O-15 通いの場へ積極参加群で要介護リスクは低減するか: JAGES 長柄町プロジェクト

横山 芽衣子 千葉大学 予防医学センター

O-16 地域別における介護支援専門員の医療連携に対する意識調査 地域の医療連携に対する消極姿勢(苦手意識)とその関連要因について

中村 邦洋 ケアプランセンタースリーサポート

座長: 宮尾 克(名古屋産業科学研究所)

O-17 福島原発被災者の抗 P53 抗体値検査の陽性率

ーその① 陽性率は高かった

郷地 秀夫 兵庫民医連 神戸健康共和会 東神戸診療所

O-18 福島原発被災者の抗 P53 抗体値検査の陽性率

一その② 前半より後半が増加

松浦 千絵 兵庫民医連 神戸健康共和会 東神戸診療所

O-19 福島原発被災者の被災別·年齢別の甲状腺自己抗体陽性率の比較 その一

松浦 千絵 兵庫民医連 神戸健康共和会 東神戸診療所

O-20 福島原発被災者の被災別·年齢別の甲状腺自己抗体陽性率の比較 その二

一抗 TG 抗体、抗 TPO 抗体 TPO 抗体と年次推移一

郷地 秀夫 兵庫民医連 神戸健康共和会 東神戸診療所

10:00~11:00 一般演題 6群

第5会場(3F 講義室1)

座長: 垰田 和史(滋賀医科大学)

- O-21 予防接種健康被害救済制度における審査請求について
  - 一健康被害救済の困難さの検証と制度の運用改善、見直しの 提案にむけて(2報)—

栗原 敦 MMR(新3種混合ワクチン)被害児を救援する会 (全国薬害被害者団体連絡協議会加盟)

O-22 薬害筋拘縮症者の二次障害について(第1報)

一質問紙調査について一

山本 遼平 滋賀医科大学 社会医学講座 衛生学部門

O-23 薬害筋拘縮症者の二次障害について(第2報)

一多職種による介入事例検討一

白星 伸一 佛教大学 保健医療技術学部 理学療法学科

O-24 HPV ワクチン接種後の「痙攣」関連症状の発生報告と、 接種との因果関係判定の実態

一厚生労働省公表の「症例一覧」表のまとめからの考察

片平 洌彦 臨床・社会薬学研究所

座長: 久保 美紀(昭和大学)

O-25 刑務所内における介護が必要な高齢入所受刑者に対する 介護専門スタッフの体制について ~ A 刑務所の現状報告~

午頭 潤子 白梅学園大学 子ども学部家族・地域支援学科

**O-26** 看護師を対象とした地域連携研修における演劇ワークショップ活用の可能性

記村 聡子 神戸女子大学 看護学部

**O-27** 共分散構造分析による女性看護師の職業性ストレスの検討

古屋 肇子 大阪青山大学 健康科学部 看護学科

**O-28** プライマリ・ケア分野診療看護師(仮称)に求められる 居宅療養生活支援コンピテンシー

一東京圏在住の中年世代に対するフォーカス・グループ・インタビューから一

大釜 信政 帝京科学大学 医療科学部 看護学科

11:10~12:10 一般演題 8群

第2会場(2F 臨床講堂)

座長:大木 幸子(杏林大学)

- O-29 医療アクセスの社会格差
  - 一松江生協病院の救急搬送患者の受診状況調査一

宮本 恭子 島根大学 法文学部

O-30 ソーシャルワーク専門職団体の継続学習支援システムの分析 一英・米・韓からの示唆一

竹森 美穂 佛教大学大学院 社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 博士後期課程

**O-31** 当事者経験にもとづく協働設計 (EBCD = Experience Based Co-Design) で 医療の質を改善する

佐藤(佐久間) りか 認定特定非営利活動法人 健康と病いの語りディペックス・ジャパン

**O-32** 日本国憲法の理念が及ばない医療現場

中田 実 金沢医科大学 衛生学・リハビリテーション医学

座長: 辻村 裕次(滋賀医科大学)

**O-33** Barthel Index の因子モデルに関する安定性の検討

出井 涼介 地域ケア経営マネジメント研究所

O-34 潜在ランク理論によるアルツハイマー病高齢者の活動に関する順序性の検討

高橋 順一 地域ケア経営マネジメント研究所

**O-35** 高齢者における支え合い組織づくりのためのニーズ調査

井上 直子 飯能市役所 埼玉医科大社会医学

**O-36** 超高齢期に向けた社会資源づくりプラットフォーム設計の実践と評価

立瀬 剛志 富山大学 医学部 疫学・健康政策学講座

11:10~12:10 一般演題 10群

第4会場(3F 講義室3)

座長:山崎 喜比古(日本福祉大学)

**O-37** 抑うつの援助要請プロセスに影響を与える要因

児玉 壮志 北海道医療大学 リハビリテーション科学部 作業療法学科

O-38 統合失調者の地域生活に対する自己効力感と福祉サービス利用満足度の 関連性に関する研究

石田 賢哉 青森県立保健大学 社会福祉学

O-39 生活困窮に陥った精神疾患患者の特性と生活課題

西垣 千春 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部

**O-40** 学生向け CES-D 短縮版作成に向けた探索的検討

米田 龍大 北海道医療大学大学院 看護福祉学研究科 博士後期課程

座長:大野 義一郎(東京勤労者医療会東葛病院)

O-41 中国旧日本軍遺棄毒ガス被害者実態調査および日中共同の医療支援

磯野 理 公益社団法人信和会 京都民医連あすかい病院 神経内科

**O-42** パレスチナ・ヨルダン川西岸とガザ地区における 『医療・こども支援活動』 の報告

猫塚 義夫 勤医協札幌病院 整形外科

O-43 日本の医学者・医師、医学界・医療界の戦争加担の検証 京都大学に対する第731部隊軍医将校の学位授与の検証を求める活動

西山 勝夫 滋賀医科大学

O-44 東京での原爆被爆医療と反核の取組み

向山 新 社会医療法人社団 健生会 立川相互病院

11:10~12:10 一般演題 12群

第6会場(2F 実習室2)

座長:石竹 達也(久留米大学)

O-45 がん相談支援センターにおける相談内容項目の テキストマイニングによる構造化

三苫 美和 神戸女子大学

**O-46** 経済的な理由による受診控えをする患者をスクリーニングするための 問診項目の開発

中司 貴大 公益社団法人福岡医療団 千鳥橋病院

**O-47** 新聞における自死遺族に関連する報道の検討

鈴木 大介 早稲田大学大学院 人間科学研究科

**O-48** JPCAT 用いたプライマリケアの質についての障がい者と非障害との比較: 第二報

岩隈 美穂 京都大学大学院 医学研究科 医学コミュニケーション学分野

大会長講演 基調講演 特別講演 ものがたりセミナー 教育講演

編集委員会企画

#### 生命(いのち)と生活(くらし)と 生きる権利(人生)を衛(守る)、社会づくり

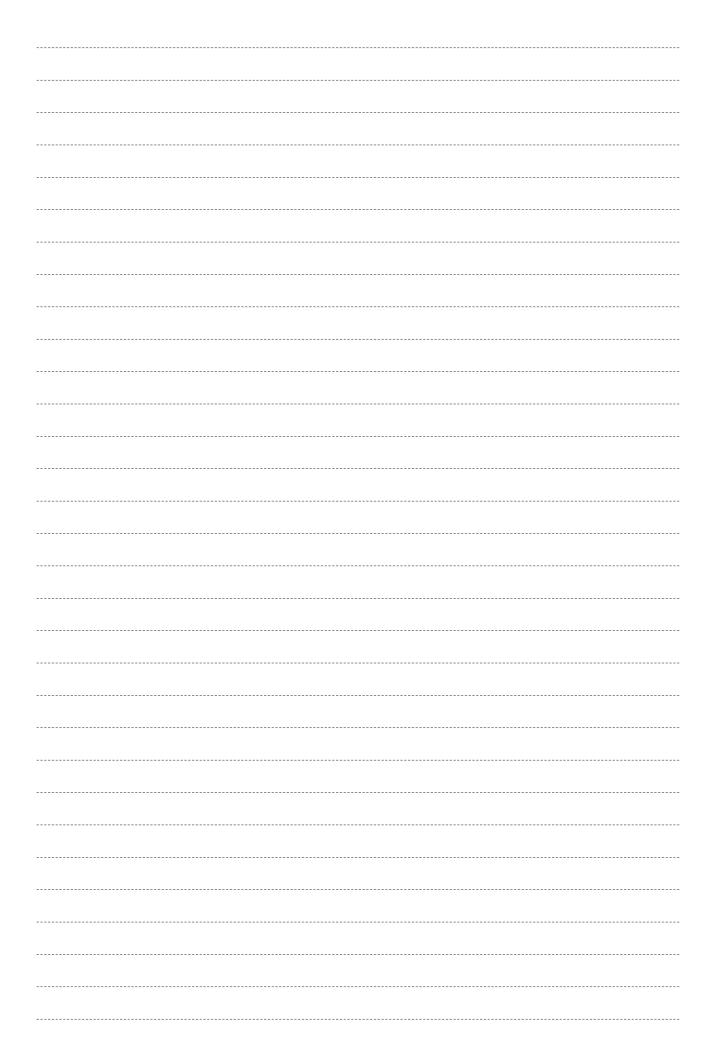
#### **櫻井 尚子** 東京慈恵会医科大学大学院 医学研究科 看護学専攻

日本社会医学会は、前身である「社会医学研究会」が1960年に発足し40年後の2000年に学会となり今回で第60回を迎える。「社会医学研究会」は、国立公衆衛生院の曽田長宗先生の「社会医学のはるかな道」(医学書院1985年・非売品)によると、関東大震災直後の東大医学部学生を中心としたセツルメント活動が発端であると記されている。「社会医学研究会の創設に当たっては、本来社会的生活を送る人類の必要によって生じた医学が、個別的、自然科学的、生物学的研究成果に幻惑されて、ともすれば、その見失わんとする社会性をあくまでも保持し、回復しようとする反省が、同会を生んだのであって、予防であれ治療であれ、医学のあらゆる分野において、およそ社会と深い関連を持つ問題は、なんでも取り上げて検討しようとしたものである。(1961年第2回社会医学研究発表会)」「机上の論議に終わるのでなく、真に地についた実践的意義ある社会医学・・・具体的な経験と実例を重ねて、身をもって体得しなければならない。・・・正確な資料に基づくものである限り、立場の相違によって色々な解釈が可能であるとしても、そのいずれも排除することなく、虚心坦懐に広く比較研究を試みる機会をしつらえるのがわが社会医学研究の任務といえないだろうか。(曽田長宗、社会医学への期待、公衆衛生、25巻11号、1961年)」と述べている。

また、明治6年3月24日初代医務局長に相良知安が任命され、その年6月13日辞任後第2代医務局長として長与専斉が任命されたことも記されていた。私は看護大学時代に、前田信雄先生(国立公衆衛生院)に「公衆衛生とは、人々の生命と生活と生きる権利を衛(守る)」こと、宮坂忠夫先生(国立公衆衛生院)に健康教育において「(当事者)参加」が大切と講義を受けたことが思いだされる。1976年卒業後、東京都中央区中央保健所に保健婦として就職し、社会制度や資源が整っていない中、子育てグループや精神患者家族会、作業所などを立ち上げていく理念の軸になっていたのが、「保健婦は健康を保つことを支援する専門職」であり、「生命(いのち)と生活(くらし)と(ひとり一人の人生)生きる権利を守る社会づくり」が大切であるという考えであった。

大学卒後から23年間を経て、1999年4月東京都立大学大学院都市科学研究科に、星旦二先生に指導教授になっていただき入学した。1986年WHOオタワ憲章が出されヘルスプロモーションによる新しい健康づくりのパラダイムシフトが日本においても求められた。曽田長宗先生は1971年に「職種・職場・社会的地位・年齢に区別なく、相互の間で話し合いを尽くし、力を合わせて、社会の期待に添わなければならない時期ではないでしょうか。(公衆衛生の反省―指導の立場から住民主体の公衆衛生へ)」。そして、自治体の行政の在り方を「本来、原則的には住民自治を主体としなければならない(公衆衛生37巻12号、1973年)」と述べている。第3次健康づくり政策「健康日本21」(2000年)の地方版保健計画策定やエビデンスとしての研究、地域活動支援を行う機会

### 一般演題



#### 第60回日本社会医学会総会 企画運営事務局・実行委員

企画運営事務局 (敬称略)

大会長 櫻井 尚子 東京慈恵会医科大学

羽入 千悦子 東京慈恵会医科大学

青木 紀子 東京慈恵会医科大学

佐竹 澄子 東京慈恵会医科大学

実行委員 梶井 文子 東京慈恵会医科大学

佐藤 正美 東京慈恵会医科大学

望月 留加 東京慈恵会医科大学

福田 美和子 東京慈恵会医科大学

山下 真裕子 東京慈恵会医科大学

遠山 寛子 東京慈恵会医科大学

杉山 友里 東京慈恵会医科大学

室岡 陽子 東京慈恵会医科大学

明神 哲也 東京慈恵会医科大学

石橋 史子 東京慈恵会医科大学

高塚 綾子 東京慈恵会医科大学

務臺 理惠子 東京慈恵会医科大学

鈴木 佳代 東京慈恵会医科大学

大木 幸子 杏林大学

高城 智佳 京都看護大学大学院

渡部 月子 神奈川県立保健福祉大学

久保 美紀 昭和大学

朝倉 真奈美 東京慈恵会医科大学附属第三病院

緑川 綾 東京慈恵会医科大学大学院看護学専攻博士後期課程

菅原 まり子

### 第60回 日本社会医学会総会 講演集

大会長: 櫻井 尚子

事務局:東京慈恵会医科大学医学部看護学科内

E-mail: 60jssm@jikei.ac.jp

出版:株式会社セカンド

〒 862-0950 熊本市中央区水前寺 4-39-11 ヤマウチビル 1F

 $\mathtt{TEL}: 096\text{--}382\text{--}7793 \quad \mathtt{FAX}: 096\text{--}386\text{--}2025$ 

https://secand.jp/

第60回 日本社会医学会総会事務局 東京慈恵会医科大学医学部看護学科内

E-mail:60jssm@jikei.ac.jp